

決算審査報告書

1 審査事件

令和2年度日野町歳入歳出決算認定について

2 審査対象

- (1) 令和2年度日野町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和2年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和2年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和2年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和2年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和2年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和2年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

3 委員会の開催状況

令和3年9月3日、6日、13日、14日、15日、21日、22日の7日間

4 審査結果

(1) 結果

賛成多数で認定すべきものと決定した。

(2) 理由

一般会計及び6特別会計の決算について、提出された関係書類を基に審査を実施した。審査にあたっては、担当課からの聞き取り、また、必要に応じて資料の提出も求め審査した。その結果、一般会計決算書、特別会計決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は正確であり、予算執行も適正に行われているものと認められた。

5 会計ごとの所見

(1) 一般会計

決算では、翌年度へ繰越すべき財源 25,361,000 円を除いた実質収支が、189,200,874 円と黒字決算で概ね良好である。

① 歳入に関する事項

調定額4,264,277,956円に対し、収入済額4,166,880,340円で収納率は97.72%で、前年度と比較してわずかではあるが上回った状況となっている。

収入未済額（未納額）は97,397,616円で、前年度と比較して9,249,497円増加しているが、未納額の中にはコロナ特例の徴収猶予額が含まれており、その内訳は、法人町民税で1,350,500円、固定資産税で14,550,000円である。その徴収猶予額を除いた

収入未済額は、81,497,116円であり、前年度と比較すると6,651,003円の減となっている。

未納額の内訳を見ると、町税が29,060,520円、住宅使用料3,064,313円、住宅新築資金等貸付金52,766,533円、災害援護資金貸付金12,492,250円などとなっている。

未納額の大半を占める、住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の未納額は前年度より減少しているものの、依然として多額である。町税では、個人町民税において、前年度より滞納者が減少し徴収率も上がっている。また、固定資産税においても、コロナ特例の徴収猶予額を除くと、滞納者数、滞納額とも減少している。

今後も町長以下職員が一丸となって、未納者個々の実態把握と新たな未納者の抑制など、細心の対策を講じながら未納額の徴収に努められたい。

② 歳出に関する事項

歳出では、主に事業の執行状況、効果等について審査を実施した。

主な事業としては、特別定額給付金事業や地域応援商品券事業などのコロナ対策事業、根雨地区浸水対策事業、庁舎非常用発電機設備更新事業、日野病院組合他一部事務組合負担金、起債償還、基金積立などが挙げられる。

予算現額4,733,895,000円に対し、支出済額は3,952,318,466円、翌年度繰越額588,017,000円で、翌年度繰越額を予算現額から除いた執行率は95.33%であった。

不用額は193,559,534円と多額であり、当初予算を編成する際にあつたては、予算の査定段階から十分精査をされたい。

また、事業実施の際には、財源の確保を図るとともに、予算執行にあたっては最小の経費で最大の効果が得られるようさらに工夫されたい。

③ 財産に関する事項

財産に関する調書及び定額運用基金の運用状況についても正確と認められる。

財政調整基金、公共施設等長寿命化基金をはじめとする基金総額は、2,623,165,000円と増加しており評価できる。

(2) 特別会計

① 国民健康保険特別会計

決算での実質収支は、6,850,692円で、概ね良好である。

歳入の状況は、調定額353,411,817円に対し、収入済額は331,928,634円、収入未済額は21,483,183円、徴収率は93.92%となっている。国民健康保険税については、現年度未納額は大幅に減少したが、滞納分未納額はわずかだが増加しているので、徴収についてさらなる努力をされたい。

歳出の状況は、支出済額325,077,942円、不用額92,354,058円で、執行率は77.88%となっている。

② 介護保険特別会計

決算での実質収支は、32,920,411 円となっている。

歳入の状況は、調定額 660,195,145 円に対し、収入済額も同額で、収納率は 100%で評価できる。

歳出の状況は、支出済額 627,274,734 円、不用額 86,925,266 円で、執行率は 87.83%となっている。今後もいきいき百歳体操など介護予防の取り組みを推進するとともに給付費の抑制を図られたい。

③ 後期高齢者医療保険特別会計

決算での実質収支は、210,900 円で、概ね良好である。

歳入の状況は、調定額 53,650,844 円に対し、収入済額も同額で、収納率は 100%で評価できる。

歳出の状況は、支出済額 53,439,944 円、不用額 3,137,056 円で、執行率は 94.46%となっており、概ね良好である。引き続き適正な事務処理に努められたい。

④ 簡易水道特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は 0 円である。

歳入の状況は、調定額 77,396,651 円、収入済額 77,004,831 円、収納率 99.49%となっており、概ね良好である。収入未済額は 391,820 円と昨年より増加しており徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額 77,004,831 円、翌年度繰越額 39,867,000 円、不用額 1,821,169 円で、繰越額を除いた執行率は 97.69%となっており、予算執行は概ね良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

⑤ 公共下水道事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は 0 円である。

歳入の状況は、調定額 236,465,651 円、収入済額 236,337,461 円、収納率 99.95%の状況であり、概ね良好である。収入未済額は、128,190 円、新規滞納者が 2 件発生しており、徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額 236,337,461 円、翌年度繰越額 10,239,000 円、不用額 11,103,539 円で、繰越額を除いた執行率は 95.51%となっており、予算執行は概ね良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、加入促進と適正な維持管理に努められたい。

⑥ 農業集落排水事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は 0 円である。

歳入の状況は、調定額 38,999,286 円、収入済額 38,940,006 円、収納率 99.85%の状況であり、概ね良好である。収入未済額は 59,280 円と昨年度より若干ではあるが増加しており、徴

収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額 38,940,006 円、不用額 418,994 円で、執行率は 98.94%となっており、予算執行は概ね良好である。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

6 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項の規定による財政健全化判断比率について

4 指標の内、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、いずれの会計も実質収支が黒字となっているため問題はなく、将来負担比率は、基金の積み立ての増加などにより、マイナス数値となっており問題はない。

実質公債費比率についても、早期健全化基準の 25.0%を下回る 6.0%であり、年々健全化に推移している。

しかし、地方交付税に依存している本町は、国内情勢により大きく左右されるため、より一層の創意工夫と危機感をもって予算執行にあたられたい。

本委員会において、上記のとおり決定したので報告します。

令和 3 年 9 月 2 4 日

決算審査特別委員会

委員長 中原 信 男

日野町議会議長 小 谷 博 徳 様

